

イヌワシ繁殖確認

絶滅危惧種 県内16年ぶり

NIEワークシート
／小学校中学年～中学生
／理科・社会・総合

名前【

ぜつめつきぐしゅ してい
①絶滅危惧種に指定されているのは何という鳥ですか。

--	--	--	--	--	--

かくにん
②ひなが確認されたのはどこですか。

		ちいき 地域の
		しゅうへん 周辺

けんない はんしよくかくにん なんねん
③県内の繁殖確認は何年ぶりですか。

	年ぶり
--	-----

きんねんかくにん けんない こたいすう
④近年確認されている県内の個体数は何羽ですか。

せいそくすう 生息数は		羽
つがいは		ペア

きじ かんそう か
⑤この記事の感想を書きましょう。



NEXTに動画

兵庫県但馬地域の氷ノ山周辺で確認されたニホンイヌワシのひな(伊藤浩士さん撮影)

絶壁に巣、体長80センチのひな

兵庫県立人と自然の博物館(三田市弥生が丘6)は3日、但馬地域の氷ノ山周辺で、絶滅危惧種に指定されている大型猛禽類のニホンイヌワシ(国の天然記念物)の繁殖を確認した、と発表した。県内での生息数は9羽だが、内での繁殖確認は16年ぶり。里山が荒れて餌となる小動物が減り、近年イヌワシの個体数は全国的に激減。県内での生息数は9羽だが、つがいは2ペアしか確認されておらず、研究者らは「絶滅する可能性がある。明るいニュース」と喜んだ。(26面に関連記事)

繁殖の兆候を発見したのは、半



餌のへびを運ぶニホンイヌワシ(三谷康則さん撮影)

世紀にわたって但馬地域でニホンイヌワシを観察してきた三谷康則さん(70)「姫路市夢前町。餌のアカダイショウを運ぶ雌のニホンイヌワシを6月3日に見つけ、同館の布野隆之研究員(43)「鳥類生態学」に連絡。同25日、山あいにある高さ20メートル以上の絶壁のくぼみに3センチほどの巣を見つけ、その中に1羽のひなを確認した。体長は推定約80センチ。羽を広げれば2メートルとみられる。性別は現段階では分からない。三谷さんらによると、発見当時は生後3カ月程度で、そろそろ巣立ちの時期を迎えるという。

県内では同じエリアで2004年を最後に繁殖は確認されていなかった。しかし、16年にこの周辺を縄張りとする雄のニホンイヌワシが入り替わり、若返ったことで繁殖の期待が高まっていた。布野研究員は「但馬は豪雪地なので、冬場に餌の野ウサギが見つかりやすい。地元住民が里山をきちんと管理してきたことで小動物が多く生息し、ニホンイヌワシの視覚的にも捕獲しやすい環境が整った。自然の力、人の力に支えられたからこそ、生息し続けてこれた」と話す。

(斉藤絵美)